

DI (Diffusion Index=景気動向指数) とは  
各調査項目について、好転企業割合から、悪化企業  
割合を差し引いた値を示し、景気の現状把握や将来  
の見通し予測を行う。

DIがプラスなら……好転、上昇基調

DIがマイナスなら……悪化、下降基調

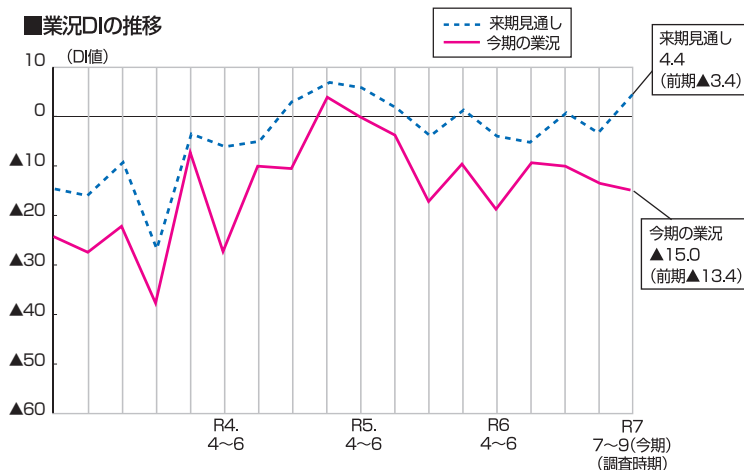
記号の見方

| DI値 | ▲25P以下 | ▲25～<br>▲10P未満 | ▲10～<br>10P未満 | 10～<br>25P未満 | 25P以上 |
|-----|--------|----------------|---------------|--------------|-------|
| 景況  | 特に悪化   | 悪化             | 横ばい           | 好転           | 特に好転  |
|     | ↓      | ↘              | →             | ↗            | ↑     |

鹿児島商工会議所

# 景況調査

調査期間 令和7年7～9月  
回答企業数 165社



**業況は前期からほぼ横ばい。来期見通しは緩やかな好転の兆しを見込む**

【今期(令和7年7～9月期)の業況】  
全産業の業況DI値は、▲15・0  
(前期比マイナス1・6ポイント)  
となった。産業別に見ると卸売業・  
小売業・サービス業でDI値が低下  
し、なかでも卸売業は前期比マイナ  
ス19・1ポイントと大幅に悪化して  
いる。

【来期(令和7年10～12月期)の見通し】  
全産業の来期見通しは、4・4  
(前期比プラス7・8ポイント)と  
なった。産業別で見るとすべての産  
業で業況は横ばいとなっている。

■産業別DI値表

|      |       | 前期<br>[R7.4～6]<br>(A) | 今期<br>[R7.7～9]<br>(B) | 増減<br>(B) - (A) | 来期見通し<br>[R7.10～12] |   |
|------|-------|-----------------------|-----------------------|-----------------|---------------------|---|
| 業況   | 全産業平均 | ▲13.4                 | ▲15.0                 | ▲1.6            | 4.4                 | → |
|      | 製造業   | ▲19.4                 | ▲19.4                 | 0.0             | 8.1                 | → |
|      | 建設業   | ▲25.7                 | ▲16.1                 | 9.6             | ▲3.3                | → |
|      | 卸売業   | ▲4.0                  | ▲23.1                 | ▲19.1           | 4.2                 | → |
|      | 小売業   | ▲13.0                 | ▲20.0                 | ▲7.0            | 7.4                 | → |
|      | サービス業 | 0.0                   | ▲2.4                  | ▲2.4            | 4.8                 | → |
| 売上額  | 全産業平均 | ▲13.2                 | ▲4.9                  | 8.3             | 9.4                 | → |
|      | 製造業   | ▲24.3                 | ▲22.2                 | 2.1             | 5.4                 | → |
|      | 建設業   | ▲29.4                 | ▲3.1                  | 26.3            | 3.2                 | → |
|      | 卸売業   | ▲19.2                 | ▲3.8                  | 15.4            | 17.4                | ↗ |
|      | 小売業   | 0.0                   | 19.2                  | 19.2            | 25.9                | ↗ |
|      | サービス業 | 12.9                  | ▲7.1                  | ▲20.0           | 2.4                 | → |
| 資金繰り | 全産業平均 | ▲7.4                  | ▲12.4                 | ▲5.0            | ▲4.3                | → |
|      | 製造業   | ▲18.9                 | ▲25.0                 | ▲6.1            | 0.0                 | → |
|      | 建設業   | ▲11.8                 | ▲15.6                 | ▲3.8            | ▲12.5               | ↘ |
|      | 卸売業   | 4.0                   | ▲7.7                  | ▲11.7           | ▲8.0                | → |
|      | 小売業   | ▲4.5                  | ▲16.0                 | ▲11.5           | 0.0                 | → |
|      | サービス業 | 0.0                   | 0.0                   | 0.0             | ▲2.4                | → |
| 採算   | 全産業平均 | ▲16.9                 | ▲21.3                 | ▲4.4            | ▲6.3                | → |
|      | 製造業   | ▲28.6                 | ▲27.8                 | 0.8             | ▲5.4                | → |
|      | 建設業   | ▲29.4                 | ▲21.9                 | 7.5             | ▲19.4               | ↘ |
|      | 卸売業   | 0.0                   | ▲19.2                 | ▲19.2           | ▲8.0                | → |
|      | 小売業   | ▲8.7                  | ▲26.9                 | ▲18.2           | ▲3.7                | → |
|      | サービス業 | ▲10.0                 | ▲12.5                 | ▲2.5            | 2.5                 | → |

【今期の売上額・資金繰り・採算】  
全産業の売上額DI値は、▲4・9  
(前期比プラス8・3ポイント)と  
なった。産業別では建設業・卸売業・  
小売業が前期から大幅に改善している。  
全産業の資金繰りDI値は、▲12・  
4 (前期比マイナス5・0ポイント)  
となり、産業別ではサービス業以外の  
各産業で悪化した。

全産業の採算DI値は、▲21・3  
(前期比マイナス4・4ポイント)を  
示した。産業別では卸売業と小売業が  
前期から大きく悪化している。

【回答企業のコメント】  
・食料関連の値上がりにより、食  
品以外の支出が月を追うごとに  
減少している。今年は定額減税も  
なく消費の下支えがされていない。  
(製造業)

・受注工事の減少により収益が悪  
化し資金繰りが難しくなってい  
る。(建設業)

・物価高騰が嗜好品の購入単価の  
低下へとつながっている。(小売  
業)